

51年度一般会計決算の見込み

きりつめ財政
せいっぱいに

財政再建も完了

51年度の一般会計の決算見込みがまとまりましたので、おしらせします。

昨年度は財政再建の最終年度にも当たり、予算の重点的配分と支出の効率化を編成の基本とし、27億8千万円でスタートしました。

その後、制度の改正や行政需要の増加などにより、8回の補正を行って、下のグラフのような決算見込みになりました。

歳入では、財源の大きな柱である市税と地方交付税の伸び率が低く、歳入総額32億3,317万円は、50年度の決算どきに比べると、約9%しか伸びていません。

このため、事務的経費の節約や事業費などを見直し、財源の確保に努力をしてきました。

その結果、歳出では31億9,529万円となり、47年度からの赤字を完全に解消したほか、3,788万円の黒字を生じることになりました。

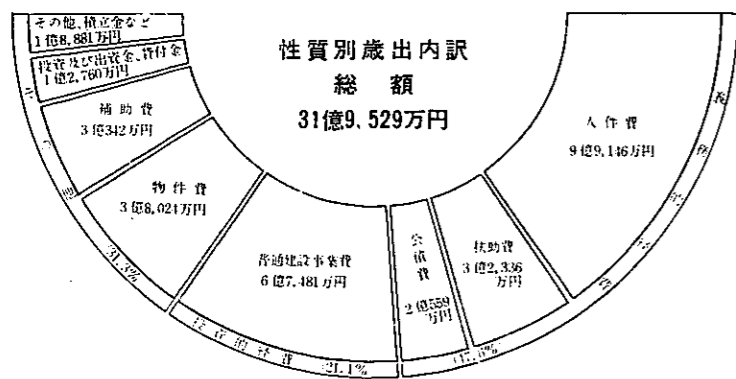
一般会計のうちわけ

地方交付税 9億6,908万円 (30.0%)	土木費 5億9,222万円 (18.5%)
市税 8億9,404万円 (27.6%)	民生費 5億7,693万円 (18.1%)
市債 4億3,890万円 (13.6%)	総務費 5億3,387万円 (16.7%)
国庫支出金 4億1万円 (12.4%)	教育費 4億7,408万円 (14.8%)
諸収入 1億7,595万円 (5.4%)	農林水産業費 2億1,584万円 (6.8%)
県支出金 1億7,053万円 (5.3%)	公債費 2億592万円 (6.4%)
分担金及負担金 6,113万円 (1.9%)	衛生費 1億9,966万円 (6.2%)
地方譲与税 4,366万円 (1.4%)	商工費 1億5,378万円 (4.8%)
自動車取得税交付金 3,212万円 (1.0%)	消防費 1億3,583万円 (4.3%)
その他 4,775万円 (1.4%)	その他 1億716万円 (3.4%)

歳入

歳出

【3】



性質別歳出の内訳

左のグラフは、予算の使いみちを性質別にみたものです。人件費は職員の給与や議員、農業委員、各種行政委員などの報酬です。扶助費は生活保護世帯、心障者などへの救護費。公債費は、借金（市債）の返済額です。なお、その他経費は、物件費や積立金などとなっています。

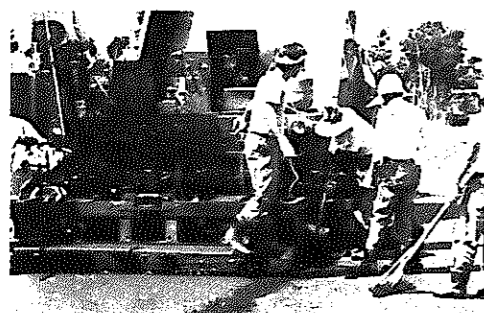
市税の内訳

収入額 8億515万円
収入率 94%

(市民税は、法人・固定資産税・国有資産等所在市町村交付金、納付金は除く)

おもな仕事

- 交通安全施設整備 千八百三十六万円
- 農村総合モデル事業 七千二百二十万円
- 地盤沈下対策事業負担金 五千八百二十二万円
- 農道整備 二千七百八十四万円



固定資産税 3億4,724万円

市民税 3億155万円

電気税 5,138万円

たばこ消費税 6,571万円

都市計画税 1,462万円

軽自動車税 1,388万円

その他 1,077万円

- 消防施設整備 千五百五十五万円
- 第一中グラウンド整備 三千九百三十四万円
- ナイター施設 九百八十万円
- 農業機械購入 九百四十八万円



- 道路整備 一億八千九百九十七万円
- 味方橋歩道橋建設負担金 千四百二十五万円
- 街路整備 三千七百九十九万円
- 都市下水路整備 一億八千三百三十四万円
- 児童公園整備 三千五百九十九万円



市債

総額 18億2,515万円

市債は過去に国などからした借金です。

▶地盤沈下対策、都市計画事業など

- 3億4,456万円 ▶市庁舎、消防庁舎、教育センターの建設
- 4億6,355万円 ▶市営住宅の建設
- 138万円 ▶小中学校整備費など
- 5億1,571万円 ▶保育所などの

- 1,101万円 ▶道路整備、消防施設整備など
- 1億9,650万円 ▶職員退職手当
- 2億1,223万円 ▶その他